

日本熱測定学会第17回通常総会

日 時 平成2年11月22日 16:40~17:25
 会 場 九州大学工学部本館 (第26回熱測定討論会会場)

1. 総会の成立

総会出席者は委任状 (382通) を含めて424名、正会員総数 (854名) の1/4を超えるので第17回通常総会は会則第17条により成立した。

2. 議 題

1. 平成2年度事業報告承認の件
2. 平成2年度取支決算承認の件
3. 平成3年度役員の内
4. 平成3年度事業計画決議の件
5. 平成3年度取支予算決議の件

1. 平成2年度事業報告 (1989.10.1~1990.9.30)

① 会員現況 () 内は維持会員口数

	1989.10.1.	入会者	退会者	1990.9.30.
正 会 員	820	75	38	857
維持会員	39(70)	0(0)	3(3)	36(67)

② 集会関係

- 1) 委員会1回 (大阪), 幹事会4回 (大阪1回, 東京3回), 庶務幹事会 (東京2回), 編集委員会4回 (東京2回, 大阪2回)
- 2) 第25回記念熱測定討論会 (1989.10.31~11.2. 大阪)
 発表件数: 一般発表 95件
 (ミニシンポジウム 10件)
 特別講演 7件
 参加者数: 257名
- 3) 第16回通常総会 (1989.11.1. 大阪) 熱測定 Vol. 17, No. 1 (1990) 57参照
- 4) Privalov教授およびFreire教授講演会 (1989.11.6. 東京: 11.8. つくば)
- 5) 第26回熱測定討論会運営委員会1回 (1990.7.16. 東京)
- 6) 第19回熱測定講習会「初心者のための熱分析

の基礎と応用」(1990.2.19~20. 東京) 参加者 96名

- 7) 第8回熱測定ワークショップ「ホリマーの準安定状態を熱分析で探る」(1990.5.9. 東京) 参加者 84名
- 8) 第2回日中合同熱測定シンポジウム (1990.5.30~6.1. 大阪) 発表件数: 53件, 参加者: 88名 (中国 18名)
- 9) 第20回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1990.7.23~24. 京都) 参加者 84名
- 10) 第9回熱測定ワークショップ「DSC測定の実際とタンパク質工学への応用」 (1990.8.28~29. 大阪) 参加者 118名

③ 共催・協賛・後援関係

共催: 第33回粘土科学討論会 (主催: 日本粘土学会, 1989.10.1~3. 秋田)
 : 第30回高圧討論会 (主催: 日本高圧力学会, 1989.10.16~18. 仙台)
 協賛: 回折法による物質構造研究法入門 (主催: 日本結晶学会, 1989.11.7~8. 東京)
 : 高圧の先端技術 (主催: 日本高圧力学会, 1990.9.13. 東京)
 後援: Dr. J. Murray 講演会 (1990.2.21. 東京)

④ 出版関係

1) 会誌「熱測定」の発行

Vol. 16 No. 4 は1,350部, Vol. 17, No. 1~3 は各1,050部

Vol. 16, No. 4 84頁 計本文254頁
 Vol. 17, No. 1~3 170頁 (別に会告29頁)

内容: 巻頭言1, 論文5, 総合論文5, ノート1, 総説6, 解説1, 実験ノート2, 熱測定応用研究の頁5, その他 レポート, 記事, 会報など
 特集「熱測定討論会25周年記念特集」(Vol. 16 No. 4)
 小特集「ホリマーの準安定状態を熱分析で探る」
 (8回熱測定ワークショップ報告 Vol. 17,

No. 3)

- 2) 「熱測定」投稿規定を改訂(熱測定 Vol. 17, No. 1 (1990) 巻末参照)
- 3) 「新熱測定の進歩 Vol. 1」の編集および発行(「熱測定の進歩 Vol. 6」を改題)

⑤ グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ(主査: 十時 稔): 会合2回(大阪, つくば) 会誌「熱測定」に熱測定応用研究の頁に協力
- 2) 熱力学データベース作業グループ(主査: 山内 繁): 会合1回(東京) サブグループ(分圧制御ソフト開発作業グループ, 世話人: 脇原将孝): 会合2回(東京)
- 3) BCT (Bulletin of Chemical Thermodynamics) 情報収集作業グループ(主査: 菅 宏)

⑥ 国際協力

国際学術団体(IUPAC, ICTA, CODATA)との協力など

IUPAC : 菅 宏(阪大理) I. 2 化学熱力学委員会委員

ICTA : 小沢丈夫(ダイセル化学工業) 副会長
十時 稔(東レリサーチセンター) 評議員

谷口雅男(神奈川工大) "Thermal Analysis Reviews & Abstracts" Regional Editor

CODATA : 山内 繁(国立リハセンタ) 日本コデータ協会役員

2. 平成2年度収支決算(1989.10.1~1990.9.30)

科 目	決算額(円)	予算額(円)
収 入	7,357,066	7,630,000
(I) 会 費 収 入	3,721,000	3,860,000
正 会 員 会 費	2,441,000	2,460,000
維持会員会費	1,280,000	1,400,000
(II) 事 業 収 入	3,506,500	3,700,000
1. 会誌発行収入	1,837,458	1,400,000
広 告 料	1,162,500	
別 刷 収 入	370,370	

購 読 料	304,588	
2. 25回討論会収入	259,178	200,000
3. 19.20回講習会収入	1,409,864	2,100,000
(III) 雑 収 入	129,566	70,000
支 出	7,782,496	7,739,000
(I) 事 業 費	4,417,541	4,235,000
1. 会 誌 発 告 費	4,195,961	4,000,000
印 刷 代	3,329,552	
別 刷 代	240,171	
原 稿 料	374,199	
発 送 費	252,039	
2. 研 究 グ ル ー プ	55,080	35,000
3. 8, 9 回 ワ ー ク	80,000	80,000
シ ョ ー プ		
4. 講 演 会	86,500	120,000
(II) 管 理 費	3,364,955	3,504,000
1. 会 議 室	299,900	250,000
2. 交 通 費	680,500	800,000
3. 事 務 局 費	1,854,000	1,854,000
4. 通 信 費	221,608	280,000
5. 消 耗 品 質	232,116	260,000
6. 雑 費	57,831	60,000
差 引 残 高	△425,430	△109,000
前 期 繰 越 剰 余 金	4,912,346	
次 期 繰 越 剰 余 金		

3. 平成3年度役員(○印新役員)

会 長 谷口雅男(神奈川工大)

委 員 赤萩正樹(学習院大理)

○安積忠彦(真空理工)

網田佳代子(兵庫県工技センタ)

○伊佐公男(福井大教育)

内川清彦(エーザイ)

内田 隆(東工大工)

小國正晴(東工大大理)

○川路 均(東工大工材研)

○岸 澄(理学電機)

北村進一(京府大農)

城所俊一(相模中研)

○木邑隆保(芝浦工大)

斎藤一弥(都立大理)

- 杉山 毅 (マック・サイエンス)
- 寺本芳彦 (セイコー電子工業)
 - 寺山清志 (富山大工)
 - 東原秀和 (信州大繊維)
- 長瀬賢三 (東北大教養)
- 長野八久 (阪大理)
 - 成田九州男 (静岡県立大薬)
- 萩原茂示 (東京理工)
 - 深田はるみ (阪府大農)
 - 前田洋治 (織高研)
- 松井恒雄 (名大工)
- 丸田三知夫 (島津製作所)
 - 丸山武紀 (食品油脂検査協会)
- 村上幸夫 (阪市大理)
- 八尾晴彦 (東工大理)
- 山崎淳司 (早大理工)
- 横川晴美 (化技研)
- 吉田博久 (都立大工)

会計監査 大塚良平 (早大理工)

- 幹 事
- 小國正晴 (企画, 東工大理)
 - 中村邦雄 (企画, 大妻女子大)
 - 馬場義博 (会計, 大工大教養)
 - 松尾隆祐 (編集, 阪大理)
 - 三橋武文 (庶務, 無機材研)
 - 村上幸夫 (会計, 阪市大理)
 - 横川晴美 (企画, 化技研)
 - 吉田博久 (庶務, 都立大工)

編集委員 (委員長) 松尾隆祐 (阪大理)

- 稲葉 章 (阪大理)
- 木村隆良 (近大理工)
- 深田はるみ (阪府大農)
- 片山 巖 (阪大工)
- 田中春彦 (広大学校教育)
- 脇原將孝 (東工大工)
- (地域編集委員)
- 市川和彦 (北大理)
- 板垣乙未生 (東北大選研)
- 児玉美智子 (岡山理大)
- 高見沢徹一郎 (九大工)
- 前田洋治 (織高研)
- 松下和正 (長岡技科大)

4. 平成3年度事業計画 (1990.10.1~1991.9.30)

① 集会関係

- 1) 委員会2回(福岡1回, 東京1回), 幹事会4回(福岡1回, 東京3回), 庶務幹事会2回(東京), 編集委員会4回(東京2回, 大阪2回)
- 2) 熱測定応用研究グループ会合2回(福岡1回, 東京1回), 熱力学データベース作業グループ会合2回(東京), 分圧制御ソフト開発作業グループ会合2回(東京)
- 3) 第26回熱測定討論会(1990.11.21~23, 福岡) 第27回熱測定討論会運営委員会1回(京都) (第27回熱測定討論会1991.11.6~8, 京都, 予定)
- 4) 第17回通常総会(1990.11.22., 福岡)
- 5) 第21回および第22回熱測定講習会
- 6) 第10回熱測定ワークショップ(1990.11.30, 東京), 第11回および第12回熱測定ワークショップ(テーマ, オーガナイザー募集)

② 共催・協賛・後援関係

- 共催: 第34回粘土科学討論会(主催: 日本粘土学会, 1990.10.22~25, 鹿児島)
- 第31回高圧討論会(主催: 日本高圧力学学会, 1990.11.19~21, 大阪)
- 協賛: 第11回日本熱物性シンポジウム(主催: 日本熱物性学会, 1990.11.6~8, 東京)
- : 回折法による結晶構造解析入門(主催: 日本結晶学会, 1990.11.6~7, 東京)
- : 食品ハイドロコロイドシンポジウム(主催: 食品ハイドロコロイド研究会, 1990.11.26, 東京)
- : '91新素材展(主催: 日本経済新聞社・材料連合フォーラム, 1991.5.28~31, 幕張)
- : 氷の物理と化学国際シンポジウム(主催: 日本雪氷学会, 1991.9.1~6, 札幌)
- 後援: 第5回中四国科学機器展(主催: 中四国科学機器協会・日本工業新聞社, 1991.5.16~18, 広島)
- : 第1回計測・制御・検査機器展(主催: 中四国科学機器協会・日本工業新聞社, 1991.5.16~18, 広島)

③ 出版関係

- 1) 会誌「熱測定」の発行, 各号は1,100部 (Vol. 17, No. 4, Vol. 18, No. 1~3)
 - 2) 「新熱測定の進歩 Vol. 2」の編集および発行
 - 3) 会員名簿の発行
- ④ グループ活動
- 1) 熱測定応用研究グループ 前年度に準ずる
 - 2) 熱力学データベース作業グループおよび分圧制御ソフト開発作業グループ 前年度に準ずる
 - 3) BCT 情報収集作業グループ 前年度に準ずる
- ⑤ 国際協力
- 1) 活動は前年度に準ずる
 - 2) IUPAC 国際化学熱力学会議 (1996年) の日本誘致について

5. 平成3年度収支予算 (1990.10.1~1991.9.30)

項 目	予 算 (円)
取 入	7,711,000
(I) 会 費 取 入	3,911,000
正 会 員 会 費	2,571,000
維 持 会 員 会 費	1,340,000
(II) 事 業 取 入	3,700,000
会 誌 発 行 取 入	2,000,000
26 回 討 論 会 取 入	200,000
21,22 回 講 習 会 取 入	1,500,000
(III) 雑 取 入	100,000
支 出	8,180,000
(I) 事 業 費	4,620,000
会 誌 発 行 費	4,000,000
名 簿 発 行 費	300,000
研 究 グ ル ー プ	80,000
ワ ー ク シ ョ ッ プ	120,000
講 演 会	120,000
(II) 管 理 費	3,560,000
会 議 費	300,000
交 通 費	800,000
事 務 局 費	1,854,000
通 信 費	280,000
消 耗 品 費	260,000
雑 費	66,000
差 引 残 高	△469,000